



**SAPPOROWINE
CO.,LTD.**

 さっぽろワイン株式会社

会社概要

会社名： さっぽろワイン株式会社

代表取締役： 三浦 裕一

設立： 2020年 5月2日

資本金： 5百万円

事業内容： ワインの醸造、販売

関連会社： 株式会社 寿運輸（運送会社、小型運輸、給食配送など）

株式会社 KOTOBUKIファーム（ブドウ・野菜・果樹栽培）



主圃場

石狩市八幡:4.2ha

石狩市樽川:0.8ha



2022,4~
新琴似、手稲前田でも
ブドウづくり開始

さっぽろワイン
石狩直売センター
営業時間外

さっぽろワイン
八幡ヴィンヤード
営業時間外

さっぽろワイン
樽川ヴィンヤード
営業時間外

醸造所まで車で30分

醸造所まで車で20分

醸造所

札幌市手稲区 新発寒

(旧(株)北海道きのこ生産総合研究所 工場跡地をリノベーション)



札幌市内 市街地より車で20分程
“気軽に行ける”ワイナリー

◎総仕込み量に占める“自社畑ブドウ”の比率

100% (2020年)

※ 醸造産業新聞社編「2021日本ワイン生産者ガイドブック」参照
札幌市の他ワイナリーは、A社:5%、B社:1%、C社:非公表

→ 原料全てに目が行き届いています。



◎創業4年前より、ブドウ栽培を開始

→ 創業初年度より
熟度のあるブドウでワインを生産
初年度より、収量を確保

(酒造免許、法定数量6000L以上を生産する必要がある為)



札幌市北部、石狩市の気候、と可能性



砂地混じりの、石狩市・八幡圃場



(1)水はけが良く、ブドウにとって有利

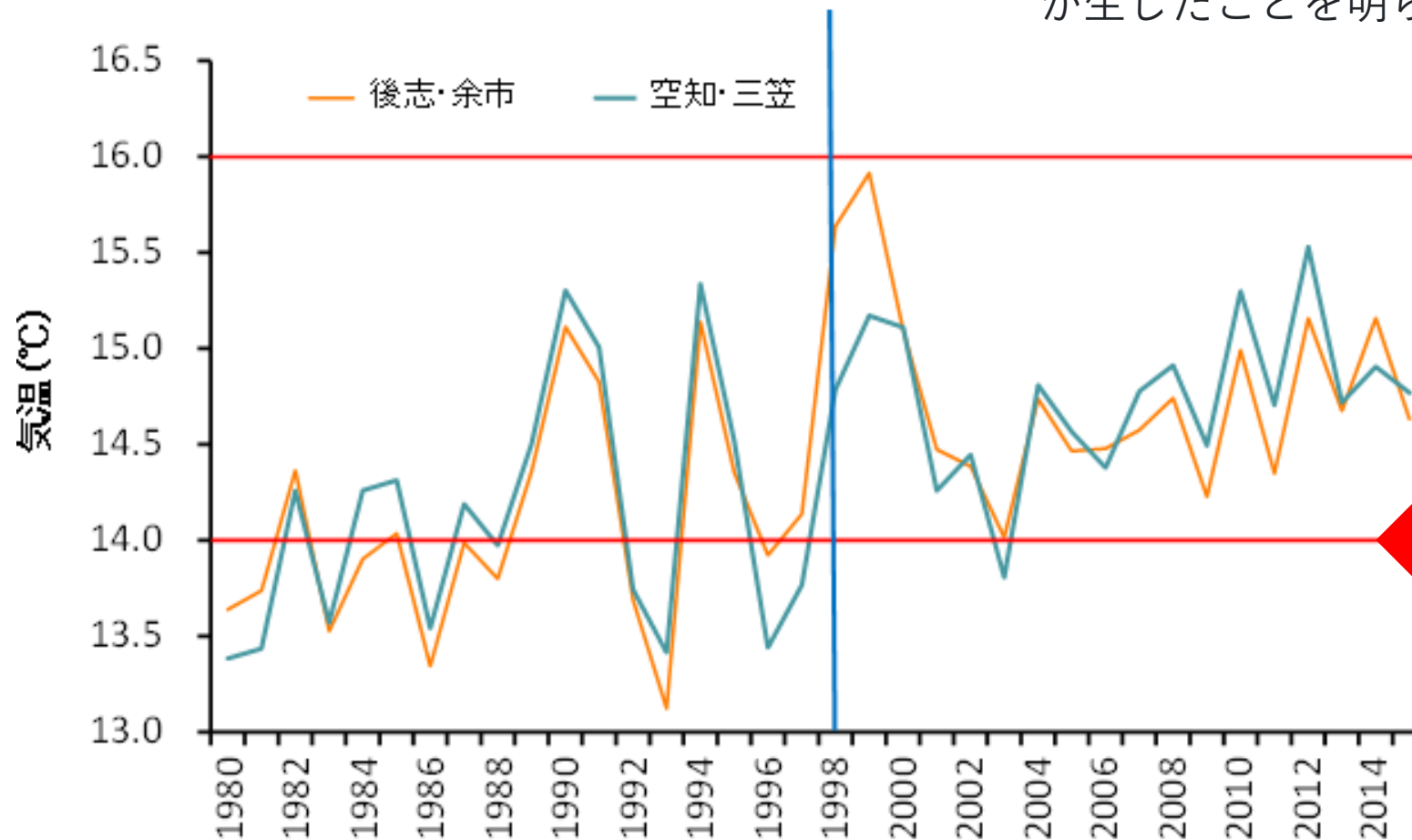
・土壌は海岸沿いの様な砂地が主体であり、2m程掘り下げても砂地が続く

(2)海側から、風が吹く

・常に風が吹いている為、病害(カビ)の温床となる湿気の滞留が無い
・小さな害虫が寄り付かない
・僅かにミネラル分を感じる味わいになる

緯度だけでなく...

北半球における高層大気場と海水面温度を用いた統計解析から、1998年を境に北海道を含む北日本で気候シフトが生じたことを明らかにした。



**気候も
西欧品種向きに
変動している**

ピノ・ノワールの栽培適温域の下限値

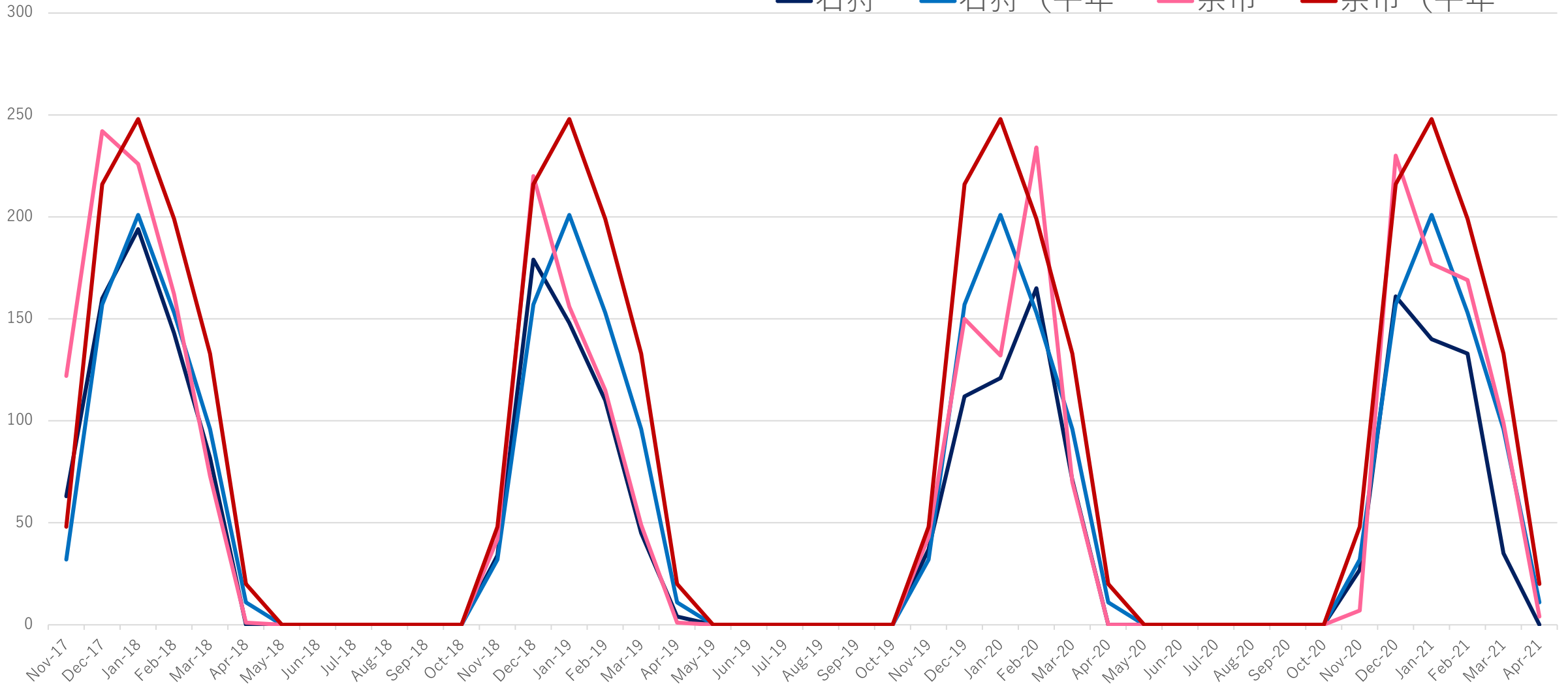
**この環境を求めて
全国からワイナリー設立を
目指す人が集まっている**

<参考資料>

農研機構 「(研究成果) 気候変動により、北海道の代表的産地で高級ワイン用ブドウ「ピノ・ノワール」が栽培可能に」 より抜粋

石狩市と余市町の積雪量比較

— 石狩 — 石狩（平年） — 余市 — 余市（平年）



<参考> 気象庁データ

銘醸地余市町と同じ気候、ポテンシャルがある

- ・もちろん、気候以外の条件も必要だが、良質なブドウを育てられる環境がある。
- ・海岸沿いは砂地混じりの土壌が多く、水はけの良い環境を探す事が可能。
- ・場所によっては冬場にブドウの樹を枯らさない為の積雪量を確保できる。





石狩市とのコラボ商品
ふるさと納税返礼品などに活用
(石狩市内限定販売)

→引合多数、隣接する札幌市北区と手稲区で特別販売



目 標

地域の皆様の、豊かな食生活に根付き、
食生活に寄り添えるワインを作る。

「十勝ワイン」「ふらのワイン」「おたるワイン」の様な
いつでも買える“定番ワイン”になる。

「ドメーヌタカヒコ」「クリサワブラン」の様な
“高品質なワイン”を作る。



課題

一部の北海道産ワインは手に入りにくい。

価格面では、まだまだ寄り添う事が出来ていない。

高品質なワインを作り、評価を得る必要がある。



進 捗

一部の北海道産ワインは手に入りにくい。

↑生産量が確保できる所まで来た。



価格面では、まだまだ寄り添う事が出来ていない。

↑低価格帯の商品開発を進める。
ワイナリー限定商品の販売開始。

※2022年以降、順次販売予定ワインにリーズナブルな価格帯を投入予定。



高品質なワインを作り、評価を得る必要がある。

↑コンクールに出品、入賞を目指す。





東アジア最大のワインコンクール

サクラアワード2022

において、初年度のワインを出品した所、

日本ワインでは最高得点

を獲得して、

日本ワイングランプリ ジャパニーズワイン賞

を、受賞しました！！

(ほとんど報道されませんでした・・・)

開業初年度のワイナリーとして快挙！



キーワードは

「地元の人に愛されるワイナリー」

